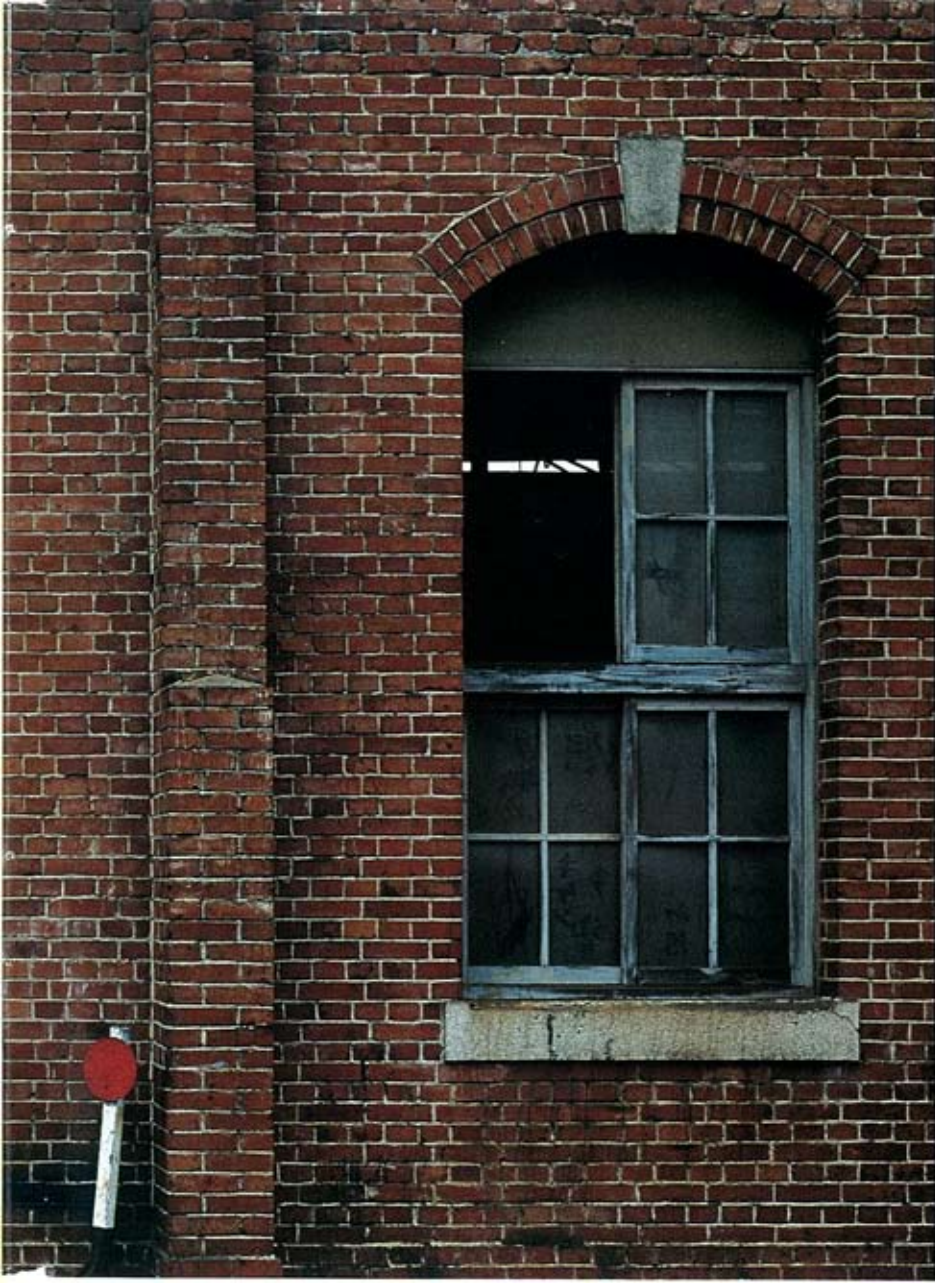


神戸のディテール

Detail of KOBE <55>

石坂 春生

写真 / 杉尾友士郎





A HAPPY NEW YEAR.



左からレオパード、マウンテンオセロット、オセロット(いずれもビュール・バルマンの作品)

見 つ め ら れ る 毛 皮

おかげさまで 創業 **20** 周年

盗難・火災・破損保険
お買上品の保管・
クリーニング・保管
等アフタケア完備



最高の品質と信用を誇る毛皮専門店

ニイ毛皮店

本店/神戸 支店/さ 戸 国 際 会 館 1F ☎078-221-3327
支店/さ ん ぶ ら ザ 7F ☎078-332-4661

謹賀新年 伝統と風格を守り育んで95年。



創業明治十六年

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL (078) 341-0693

大阪・高麗橋2丁目 TEL (06) 231-2106

● 謹賀新年 ●



世界のオシャレをお届けする

ウネ
KOBE UNE

本店・神戸元町 | 番街・078-331-3112
別室・元町 | 丁目(穴門筋)・078-332-2800
東急百貨店・渋谷店・日本橋店・札幌店・吉祥寺店

A HAPPY NEW YEAR

華麗なあなたへ、今年も

豊かな年の幕開き…女性の美しさをお手伝いするムラタを
本年もどうぞよろしくお願いたします。

'77~'78
Fur Coll



ムラタ



真珠・貴金属
毛皮・婦人服

ムラタ

さんちかレディスタウン
(神戸市生田区三宮町1丁目1)
☎(078) 391-3886

本社
(神戸市生田区元町通6丁目35の2明邦ビル)
☎(078) 341-8041

写真の商品は
真珠リング / ¥ 5,000,000
真珠イヤリング / ¥ 3,000,000
ロシアセーブルロングコート / ¥ 20,000,000

「素敵なお出逢い—神戸のエスプリ」



「キングス・アームス」にて

わたしだけの充ちたりた時間

街にあふれる師走のざわめきも遠く……
懐しい友とのおしゃべりに、心なごむひととき。
ワインの香りが

私だけの時間を静かに溶かしていきます。
〈リザ・サロン〉は、豊かなライフスタイルのための
ファッションを、心をこめてお届けしています。
どうぞお気軽にお立ち寄りくださいませ。

素敵なお出逢い78早春のカタログを取り揃え、ご来店をお待ちしております。



神戸本店



リザはファッションを通じて豊かな生活を考えます

LIZA

◆神戸本店

神戸市生田区三宮町1-17-4

センタープラザ3階 650 ☎078(391)6806ℙ

営業時間=AM11:00~PM8:00/定休日=第3月曜日

◆神戸地区〈リザ・サロン〉のご案内=そごう神戸店2F・大丸神戸店2F

大丸新長田店1F・センタープラザ1F

☑LIZAホリディ・ツアースペシャル

ロアール・シャトゥーパーティと

バリ8日間の旅募集中心

¥208,000

詳しくは近畿日本ツーリスト

LIZAデスク☎078(391)2404(専用)

またはリザ・サロンにて

おたずねください。

1月 目次

これは神戸を愛する人々の雑誌です
 あなたにくらしに楽しい夢をおくる
 神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
 これは神戸っ子の手帖です

表紙 / 小嶋良平
 セカントカバー / 西村 功

9 第二回神戸文学賞受賞者 / 奥野忠昭 / 吉峰正人

13 ある集い / 神戸乗馬倶楽部

15 コウベスナック

16 イメージの神戸 (10) / 津高和一

18 神戸のディテール (55) / 石阪春生 / カメラ・杉尾友士郎

29 わたしの意見 / 坂井時忠

32 第二回神戸文学賞・神戸女流文学賞発表

32 新春エッセイ / おんなの初夢

伊藤ルミ / 村上和子 / 木下佳津代 / 高月昭子 / 羽多悦子

宮本豊子 / 小畑延子 / 南 和恵

ある集い / その足あと / 瀬戸坊吉郎

40 私の交友録 (7) / 伊藤慶之助

42 神戸商科大学と神戸 / 終 / 高木正雄

44 新春対談 / 神戸をクリエイターのアトリエのある街に

乾 由明 / 木村恵信

52 第二回神戸文学賞・神戸女流文学賞選考座談会

足立恭一 / 白川 渥 / 小島裕正 / 森川達也 / 松原新一

キャンペーン / 国際文化都市神戸を考える (3)

世界に通用する神戸ファッションを

酒井春海 / 芹澤貞雄 / 狩谷敏男 / 梅沢照雄 / 坂野淳子

技術ジャーナル (124) / 諸岡博樹

62 経済ボケットジャーナル

話題のひろは11月 / 月堂本店新築さる2 / 南沢 舞子 / 焼再現披露祝賀会

ノコの華麗なる挑戦 (9) / 巫女人門 / 小山乃里子

76 KOBE FASHION SPOT

アンド&神戸 / 佐藤愛子

82 NEU MODE MARCHEN (1) / 藤原順子

神戸の催し物 / 案内 (1) / 月

113 文学春秋 / 富士正晴 / 文・松原新一

119 神戸の集いから

動物園飼育日記 (17) / 亀井一成

124 キャンペーン・トアロイドを考える (5)

神戸らしいイメージのある町づくりを

神戸を福祉の町に (49) / 橋本 明

ファッションレポート / 藤井まつ子

126 KFS ニュース

かわいそうなアリス (13) / 岡田 淳

134 新連載・私の映画手帖 / 淀川長治

138 女性百景 (65) / 堀川 薫

140 びっぴん

143 神戸百店会たより

ボケットジャーナル

144 新連載小説 純粋 / 第二回神戸文学賞受賞作品 / 奥野忠昭 / え大童徳

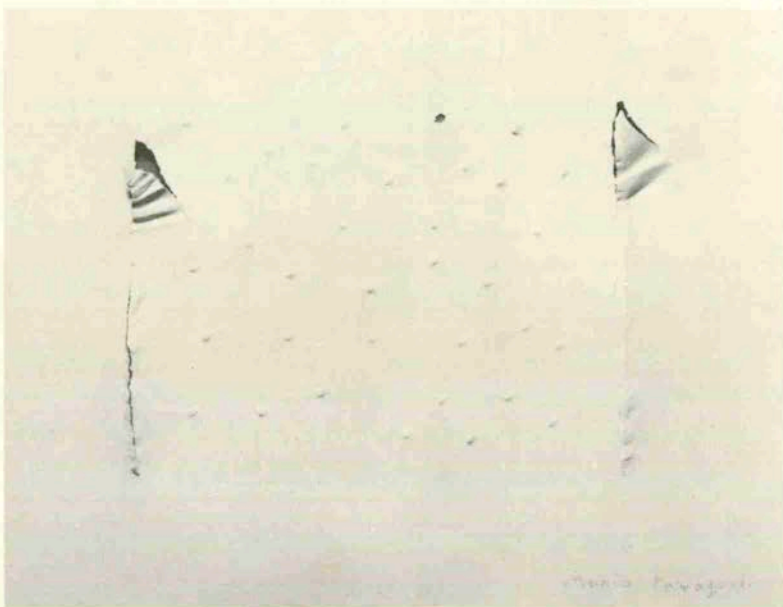
154 新連載小説 生活 / 第二回神戸文学賞受賞作品 / 吉峰正人 / え 櫻 忠

159 トーク&トーク・トラベルコーナー

アルファベットアベニュー「J」 / 新井 満 / 石阪春生

176 海船港 / ボンジョルノ・ユーゲニエフC号

カメラ / 米田定蔵 / 藤原保之 / 橋本英男 / 刃全和夫 / 遠水亨 / 吉岡和代



目次作品 / 山口牧生

●個性派のプロムナード〈北野アレー〉

KITANO ALLEY

KOBEで唯一の
BUZZ・SHOPです。

●BOUTIQUE
BUZZ-SHAP
BY LUCY!

竹村募店長 コーディネーター辻真奈美
北野アレー1F ☎242-6750



個性派・行動派の
ファッション

SKIVA

日崎文祥
北野アレー1F

明るいカラフルな色
楽しいファッションを。

プライック
パリック

山内一平
北野アレー1F ☎242-1695(代)



WORLD HAND-CRAFTS
& ANTIQUES SHOP

神戸コレクション

PERSONAL PRODUCER
TADASHI UEKI
北野アレー1F ☎222-3600

ヨーロッパの逸品が
奏でるシンフォニー

Bernadine

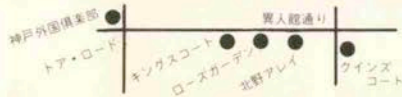
水野好
北野アレー1F ☎242-3245



昼は異人館めぐりに珈琲を
夜は洋酒を片手にお話を。

TEA LOUNGE
Histoire

山岸直幸 a.m.11:00~p.m.11:00
北野アレーB1 ☎222-5335



北野アレー・テナント
1F / BUZZ SHOP / バーナディン / パリック
神戸コレクション / プティック Chocolate Soup / スキバ
BF / イストワール / スパゲッティとスコッチの店 SAYDO
●営業時間 11:00a.m.~8:00p.m. 〈無休〉

A HAPPY NEW YEAR FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ・センタープラザ3F

- (トータルコーディネートファッション) LIZA SALON
- (婦人服飾) 東京屋
- (舶来靴専門店) Pia
- (アクセサリ-雑貨) ルイ・ミッシェル
- (ジーンズショップ) AOYAMA EIKO
- (COLLEGE SHOP) CABIN
- (バリ・ナウファッション) フランス・アンドルヴィ
- (婦人靴) 東京銀座ダイアナ
- (ヤング&アダルトファッション) ルペール
- (ヤングアダルトファッション) ランプ
- (ファッションバッグ・アクセサリ-) 美呂
- (婦人服) 原宿CAN
- (バリ・ナウファッション) ジョージ・レッシュ
- (婦人服) 銀座ケルラン
- (レディース・ファッション) 新宿高野
- (おしゃれな靴の店) BON フカヤ
- (コンテンポラリーファッション) ザ・コレクション
- (レディースファッション) 東京ギンザ三愛



紳士服飾 ノヴ
トア・ロード TEL (078) 321-0320



英国製生地専門店

ジュン洋服店

神戸市生田区中山手通311465
TEL (078) 391-0779

賀 正

友 だ ち



森本 文三 近藤 望
(森本倉庫専務) (共栄木材社長)

近藤 新年おめでとう。
森本 やあ、おめでとう。
近藤 今日の服は実によく決まっているねえ。
森本 いや、いや、そういう君こそ……。
近藤 しかし、もう30年になるねえ、君とのつき合いも。
森本 お互いフォーマルスーツがしっくりする年齢になったということだね。(笑)
近藤 まったく。(笑)関西学院の高校以来か。2人とも昭和31年に大学を卒業したね。
森本 軟式野球部で君がピッチャー、僕がマネージャ。
近藤 そうそう。いろんなワルサもやったね2人で……。
森本 部費を一晩で飲んだり……。ね。(笑)わが青春の日よ……。か。
近藤 おいおい、ずい分と年寄りくさいぞ！
森本 本物の味が分る年になったんだよ。
近藤 なるほど。(笑)
森本 今はバットをゴルフクラブに持ち換えて……。君は小野ゴルフクラブでハンディ13だね。クラブチャンピオンにもなった。
近藤 君だって広野ゴルフでハンディ7。そうだ、今度の休みに一緒にコースを巡らなかい。
森本 いいねえ。久々にお手合わせ願うか。
近藤 いつまでも君とは愉快にやりたいね。
森本 まったく。何でも話し合える友達って男にとって一番大切なもんだな。

☆私の意見

ひらけ

地方文化

坂井 時忠

〈兵庫県知事〉



新しい年が明けましたが、あらたまったのは暦だけ。昨年につづく円高、不況などによる経済社会の動向は混乱と不安を今年に持ち越し、ここ当分春を望むべくもありません。こうしたきびしい社会情勢下ではありますが、このところ「見直し」、「世直し」が叫ばれ、人間の生き方、くらし方についての真剣な問直しが行われる一方、新年の新聞は「経済の時代から文化の時代へ」と転換の必要性を説いています。このことは、戦後三十余年営々として築きあげてきた今日の輝かしい繁栄を、今後どうして維持していこうかとする問題なのです。

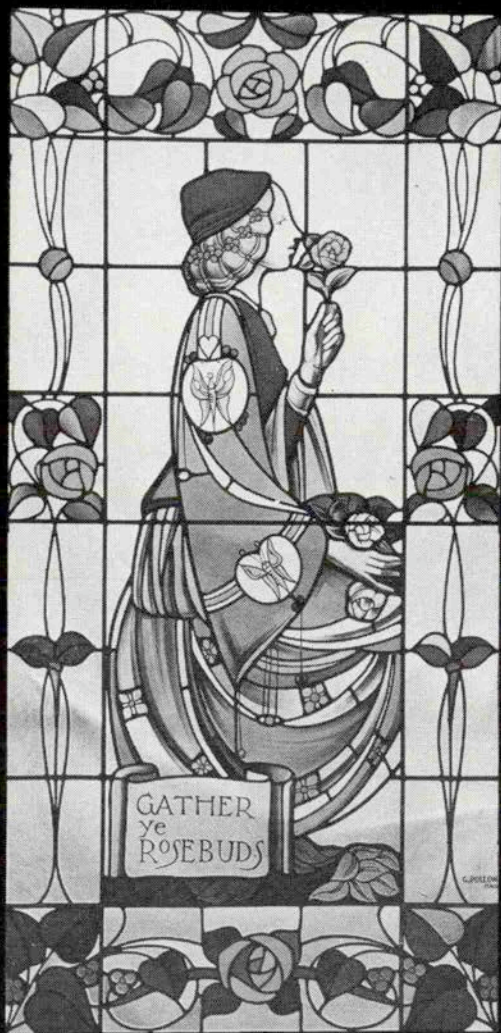
かのギリシャ、ローマの偉大な文明社会が没落していった歴史に学ぶとき、文明を滅亡させたものは外敵の侵入に先立って内部の社会的崩壊であったという恐るべき事実には思いあたります。今日限られた資源、蓄積された高度な物質文明をただ徒らに消費しその恩恵を当然のように思っている社会、日毎に肥大化する欲望や、多様化、複雑化する価値観の社会を、いかに変革していくかを真剣に考えねばなりません。

私たちはすべてを経済という物指しでしか考えなかつた過去に反省を加え、今度は文化という角度からすべてを見直し、創り変えていく必要があると思います。なるほど文化というと、すぐ遊びとか、余力といったものを連想しがちですが、私は文化とは世の中を変えていくエネルギーだと確信しています。それも中央における華麗な切り花文化ではなく、地方に咲く野草のように、地味だけれどしっかりと根のある文化に大きな期待をかけているのです。なぜならこの根こそは生命であり、無限に伸びる力を蓄えているからです。

生命力あふれる地方文化の育成に今年は是非力を注ぎたいし、その発掘と交流を基盤として、二十一世紀への輝やかなしい歩みを刻む「新しいふるさとづくり」を進めたいものと願っています。

昭和五十三年——。私たちはいまこそわが兵庫に端正な精神と豊じょうなロマンをうたいあげたいものです。

より豊かな町づくり



'78
A HAPPY
NEW YEAR

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

**KOBE
NIKKEN**

店舗装備のプロフェッショナル
(株)神戸日建

本社 神戸市葺合区御幸通3丁目2-20
〒651 ☎(078)251-3525(代)
東京 東京都中央区日本橋3丁目2-17
営業所 ☎(03)278-1369番

神戸文学賞・神戸女流文学賞発表

昭和五十一年六月、本誌は有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動のいっそうの発展のために微力を尽したいとの願いから「神戸文学賞および神戸女流文学賞」を創設いたしました。さて、第二回作品募集は昨年九月に締切り、西日本全域から多数の応募がありました。このほど最終選考を行い左記の作品が第二回の受賞作と決定いたしましたのでここに発表いたします。(授賞式は昭和五十三年一月一日(土)午後六時開始レストラン「パーク」)

□神戸文学賞受賞作品

「姥捨て」

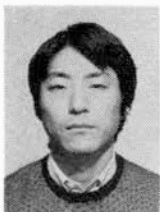
おくの 奥野 忠昭
ただあき



昭和11年4月岸和田市生。35年3月大阪芸芸大学(現大阪教育大学)卒。32年より国へ公立小学校勤務。47年12月作品集「姥(飛翔)出版。現在大阪教育大学附属天王寺小学校教諭。大阪府相原市在住。41歳。
△受賞のことは、長らく低迷している私に、好い加減このへんで発奮しろという励ましを貰ったと受けとっています。できればこれを機会に、再び活気を取り戻し、新しい作品を書き続けていきたいものだと考えています。

「生活」

よしみね まさと
吉峰 正人



昭和24年7月神戸市生。44年神戸市立淡川高校卒。51年より村戸勉と二人で同人誌「地下室から」を出す。現在会社勤務。神戸市長田区在住。28歳。
△受賞のことは、ぼくはいつも怯えている。道を歩くのさえ怖い。人が近づいてくるともうだめだ。殴り倒されるのではないかと落ちつかない。その場に倒れ、靴の紐をなおすふりをして通り過ぎのを待つ。そんなぼくの恐怖を、この受賞が、いささかは解消してくれるかもしれない。ために、これを休中に貼りつけ、明日から歩いてみよう。

□佳作 「閣下」

徳留 節

京都市西京区桂福荷山町

□神戸女流文学賞受賞作品

「ボクは目撃者」 武田喜美子

受賞作なし

□佳作

「虹の町」

坪川 立枝

香川県多度津町
福井市北今泉町

□最終選考候補作

「初年兵」 真鍋 勇
愛媛県新居浜市泉宮町

「寄生蜂」 村戸 勉
兵庫県明石市大久保江井島

「青春の眩き」 井上 淳子
福岡県大野城市平野台

「触れる」 田純千世子
大阪府淡本市竹橋町

「獄のぞき」 山田 とし
熊本市江津

□選考委員

足立 巻一
△作家

白川 渥
△作家

小島 輝正
△神戸大学教養部長

森川 達也
△文芸評論家

松原 新一
△文芸評論家

主催 月刊 神戸っ子

おどろおどろ初音

題 字/小畑延子
カット/南 和恵



神戸に 芸術大学を

伊藤 ルミ

△ヒアニスト▽



先日、ポートアイランドにドラ
イブがてら行ったのですが、規模
の大きさ、山・海・街などの周囲
の景観のすばらしさにあらためて
ポートアイランドに計り知れない
可能性と魅力を感じました。

私の夢は、時おり口にしていま
ことですが、神戸に総合芸術大学
をつくることです。

「自然に囲まれていて、その上交
通の便利な広いスペース」という

ので今まで思いつかなかったの
ですが、このポートアイランドの地
に立った時、「この場所こそ芸大
の地だ!」と心から思わずにはい
られませんでした。

そして私の夢は果てしなくふく
らんでいったのです。——広々と
した公園にまわりを囲まれ、遠く
に連なる山々、ふもとに展開する
街並み、そして近くに港の活気を
感じ、キラキラ輝く波間に浮ぶ外
国船に思いを馳せる——そんな環
境に神戸芸大ができたあかつき
には、日本はもちろん世界の人のあ
こがれの地となり、向学心に燃え
た若人がたくさん集まってくるの
ではないでしょうか。

そして学生からプロの大家まで
が、資金や観客動員の心配なく本
当に演りたいだし物ができるよう
大学のまわりに小さなホールや発
表の場をいくつかつくるのです。

そこでは、ごくポピュラーなも
のから実験的な前衛芸術まで、意
欲あふれる作品や公演が、無料も
しくは低料金で発表されていて、
お勤めやショッピング帰りに立ち
寄る人々の疲れをいやし、楽し
みを与えてくれるようにするのだ
す。またまた入ったホールのだし物
が好みに合わなければ、遠慮なく別
の場所へ、という具合に気楽な雰
囲気で。義理やつきあいで行くの

ではなく、自分の好みに忠実になることよって芸術の喜びにひたれるようになりたいものです。

アーティストの卵達は、そんな人達の暖かく厳しい感覚によって育てられ、また淘汰されていくことでしよう。仲間どうしで励ましあい、練磨しあって育ったアーティストは、その専門以外の芸術からも刺激を受けて、かたよらない真の芸術に近づいていけるのです。そして世界に通用するアーティストが神戸から育ち、神戸を中心に活動することによって、多大の影響をまわりにも与え、神戸の文化をゆるぎないものにしていく——これが神戸の街と人を心から愛し芸術を一生の伴侶にしようとしている一神戸っ子の夢なのです。

夢でみた

「夢の国」

村上 和子

ハサンTVディレクターV



私は元来、"コロコロとよく気の変わる女"です。去年のお正月になにを「心に誓った」のか、もう

忘れているのですから。そのうえ初夢を暮のうちにみてしまうという、あわて者。

ふだん、ひとりである時は、ただまりの中でよく夢をみます。ひどい時には、一日に十本以上も。翌日、頭が「ボーッ」とすることも、しばしば。夢み"こちで、いつも新しい地図を開き、誰も知らない世界をみつけては、その住人になりすまして喜んでいるのです。

今年のお正月には、"神様に召される"とき、この世の中で一番きれいな服を着る人たちの国"をみつけました。

ここは、驚くほど太陽の大きい南の島。

人びとは、陽気でおしゃれが大好き。

集会には、自分の服に刺しゅうをして出かけます。

長老になるほど色どりのいい服をまとっています。

ですから、この国の人びとは神様に召されるとき、この世の中で一番きれいな服を着ていくのです。

残念なことに、この国を地図にマークしようとしたところで目がさめてしまいました。それから一日中、そのことが頭から離れません。夜になってどの方角にある

のかポートアイランドまで確かめに行きました。

月明りに照らされた海は、とても静か。つめたい夜空にしみわたる、船の汽笛。ここちよくひびく潮騒。この海のどこかにきつとさっきの国が続いているはず。そう思うと、もうあの国がどこにあるのか問題でなくなってきました。

それにしても、海からながめる神戸の街のきれいなこと。もし、船にホテルがあるのなら、泊まってみてみたい、そんな気持ちにさえなりました。街の灯りの一つ一つに、神戸がみえます。

でも、私の小さい頃の神戸の山はありません。山だった所は丘になり、丘だった所は高台に変わっています。今では、大好きな"さ"ご山のあてっぺんにまで、人が住んでいます。

この街にやさしさがあるのも、山のせい。人びとの心がエレガントなもの、山のせい。毎日山をみないで暮している人は、一人もいません。このままでは心配です。山がだんだん小さくなってきて、そのうちになくなってしまいかもわからないから。神戸は「山の街」だったのですもの。

いつものなん倍もの星が、今夜は輝いているみたい。私は、大き

く息を吸いこんで首がいたくなるほど空を見上げました。降りかかるような冬の星座。あの青く澄んだ輝きさえも何千年、何万年も前のもの。

気が遠くなるほど永遠の世界。

このまま宇宙に吸いこまれて、どこまでも、どこまでも銀河系の中をさまよって行きたいような気分——。なんだかフワツとして、とても自由になったみたい……。山のむこうに流れ星が消えていきました。「きままなうちが華さ。人生なんて夢のまにまに」というように。

汐の香に 気づく街

木下佳通代

△造形作家▽



トアロードに移り住んではじめての大晦日のこと、突然静けさを破って霧笛が一斉に響き渡り、表通りの窓ガラスが大きく振動した。港町に生まれ住みながら、日頃何となく船や霧笛と関りなく暮らしていた私は、あまりの音の強烈さに驚き、見えない音を見ようと

でもするように思わず窓を開き、確かに坂道を真直に上り山腹に反響する霧笛を見たような思いがした。そして改めて、港や船や海や汐風を思い返したものでした。

どの街角に立つても北に向かえばすぐ手の届きそうな山の緑があり、振り向けばすぐ足もとに海があるような神戸の街は、住めば都という以上に恵まれた形のように思います。毎日の暮しに追われたとえ海辺へ行けなくても、山へ登れなくても常に海と山とその風を肌を感じる心安さがあります。都市の発展と共に数を増す高層ビル、街並や古い建物との調和を欠くような色や形の新しい商店がふえることは、良し悪しの問題ではなく、一つの時代から次の時代への必要な変化でもあり仕方ないことでもあります。私の個人的な望みを書かせてもらえるなら、山から海を、海から山を見通せなくなるようでは快適ではなくなるし、今歩いている所が、東京なのかパリなのか、神戸なのかわからないような商店街になってしまえば、もう歩くのもつまらなくなってしまう。都市の発展を経済的成長のみを根拠にして押し進める誤りやつまらなさの繰り返し、

その結果、えせ文化、えせ文化人がふえて、外見、いま風に暮せて

も、人の心が真に充たされる筈もないのですから。発展のための方法の根拠を変えなければ、自然と共に生きたいと思う若い人たちの心までも、その一つの目的のためのファッションに染まっていきつつあるのです。一人一人の人が、そして一つ一つの都市がそれぞれ自身の文化を根拠にして自然と人間が呼応しあえるような新しい場を作りたいものです。「ファッション都市神戸」の方針が、いま風神戸に終らないように、一人一人の心の中に改めて自分自身の在りようを、そして居る所を考える新年でありたいと思います。

三宮の繁華街の雑踏の中で、本当にまれに風の運で汐の香に気づくことがあります。こんなかすかな喜びも私の大事な夢でもあり、また、いま風の風の中での一服の清涼剤でもあるのです。

古いものの 価値を

高月 昭子

△建築家▽



なにかしら華やかな風が吹いているようなのです。ファッション都市を目指して、あらゆる流れがキラキラと輝きながら速度を増してきているようで、ブームも致来しているとか。またそこはかとなくアカ抜けていて、流行を追わないふうのシャレた装いをしているのが神戸っ子で、文化人がおっしゃるには、母と娘の二人連れが様になる街が神戸なのだそうです。それはそれは心地良いひびきを持って神戸が語られ、神戸人が写されて、他人様には「あの神戸、あの六甲、ホーノ」という感じで、わが侘び住まいの貧なる生活実感からは程遠い感嘆のされかたをするのが何ともちぐはぐな思いのす

る今日この頃なのです。

なにせこちとら手入れのゆき届かない人で、洗い晒さなくてもクタクタの服に雪駄をペタペタ髪を五本指でかきなでるといふ有様で頭痛薬がわりのコーヒーをすすするのを安息としている身です。

この自由で束縛のない時間と空を仕事のためのエネルギー源とし、この解放感のために顔を洗う暇さえ惜しんでいる私だというのに、どうでしょう、あの少し床の傾いていた喫茶店が、とてもスーツを着ては入れなかつたカレー屋が、どんどん建て変えられて、ことごとく華麗に変身してゆくではありませんか。あの神戸、あの六甲に着実になってゆくようなので

す。こんなところでコーヒーを飲んでいては、カレーを食べていては、うどんをすすっていては、スペイン風の白い壁に何故かアールのついたような家をつくったり、レンガタイル貼りにガラス屋根の図面を書いてみたくなったりするではありませんか。

一軒、また一軒と、年月の重みを持ちこたえられなくなった人間の軽さを示すように値うちのある家が、空間が様変わりしていつて跡には確実に「ペラペラのウスツペラになりやがって」という感じのモノで埋まってしまふのが耐えがたく落ち着かないのです。

女の夢にしては色気に欠けるくらいはありますが、古いものの中の価値を手離さないでやってゆきたいと思うのです。新しいものを造ってゆくのはまた違った持ち重なるのする夢があるのです。あの子供の時、魔虚を遊び場としていた頃の無限の解があるような強烈な感覚に似ているといえбайいでしょうか。そういう魅力にみちている場や空間も神戸に欲しいし造りたいと思うのです。あの神戸あの六甲でなく、自分自身の住まう神戸、六甲として考えないと私は心安らかにして住まいすることができなくなってしまうという気がしてきているのです。



本物 指向

羽多 悦子

△二紀会員▽



毎年のこと、秋たけなわの十月
東京上野にての展覧会を終えると
もう私には一年が終ってしまった

かのように思えます。

師走には、一年の集計とかで世の人々が駆けめぐることになるのだが、こちらは既に次に来る年が始まっている、というはずいぶん勤勉に聞こえるでしょうが確かにエンジンのかかるまで数十日を要するわけだから、結果としては展覧会後の懇親会だのクリスマスだのやれ忘年会だのと何度も間抜けた顔で出かけ遊べや遊べの毎日を過してしまい、やがて除夜の鐘と港からの霧笛を合せて聞く日、改めてゆく年くる年を思うのです。

このところ、加速度を増しながら神戸らしく充実してゆく我が街に誇りを感じています。あたかも自分の生き方も神戸と共に誇り高くなるようで心地良いのです。

ところで神戸らしさとは何か、を時々考えてみるのですが「本物指向を慈しむこと」ではないかと思えるのです。ファッションにしても流行している、いないにかかわらず自分に似合うものを、また似合うようにして巧みに取り入れてしまう。押し着せでは満足しない。どんな斬新なものでも自分のものさしをあて、本物指向と出るとサツサと自分のものにする。衣だけと限らず食、住、その他の分野でも本物指向が大切にされているようです。

ただ、時々気になるのが広告部門、さかしらを申すようで心苦しいのですが、本物指向とばかりは言っておれない部分があるに表面化しているのかも知れません。伝えたい事柄をすべて書き並べたようなポスター、看板、の前は片目をとじて走り抜けたくなります。

新しい街造りも本物指向の中で進んでいるようです。北野界限も坂道の風景を壊さぬようにと心を配られながらブティック等が次々と誕生してゆき、三宮界限の過密化も東西、南北、上下、に押し広



げようと努力がなされているようにみうけます。もう四年ばかり過ぎるとポートアイランドも全体の躍動を始めるのか。神戸も、神戸Ⅱ三宮の感を改め東西南北に雄々しく広がって国際都市の名にふさわしく増々エレガントな街になってゆくことでしょう。

「今宵は三宮界限で；で済んだ今までと違って、西から東へ、北から南へ、それも、もぐったり登ったりでずいぶん忙しい思いをしそう。楽しいけれど車代も大変、」なんて冗談を言ったら、「車ぐらい黙って乗せて頂ける身分になっておくべきよ……あつ、その頃になったら声すらかからなくて出かける必要もないかも。」と仲間の毒舌が返ってきた。エレガントな風景に浸って私自身も勿論本物指向、それこそエレガントな女性になっているはずなんだけれど。

豊かな美しい街

宮本 豊子

生活科学センター主任



「目の前に青空が広がる。心の窓がぱつと開かれたよう」神戸にやってくる友人の多くが口にする言葉である。科学的に調べれば、やれ公害だの何だのと問題はあっても、六甲の山々、舟の行ききする港、海、そして花咲く美しい街並み、温暖な気候、これにハイカラさが加わった、神戸の街の雰囲気はいつまでも大切にしたい……この気持が私の心をおおう。

こんな恵まれた街で、生活し、また仕事で多くの時間を費せば、よい発想、考えが生まれるのも当然といえるかもしれない。住みよい街、生活しやすいい街に、ファッション性豊かな明るい街づくりのために。

神戸っ子の私の初夢は、「発想」「創造」のできる人間でありたいと願う。今日から明日への新しい発見を求めて、たとえそれがごく小さな発見であつても変動の激しい社会で、斬新な発想が消費者問題に活用でき得るなら、生活はより健全な方向に展開するのである。消費者問題に十七年間携わってきた私の経験が、ついこうした発言をさせてしまう。だが続けよう。

神戸という街は、消費者問題でも先進的役割を果たしている。この四月には、ポートアイランドに兵

庫県生活科学研究所(仮称)がオープンする。いわば「消費者の城」といえよう。商品をつくる人、売る人のためのものであり、使う人買う人のための研究所が、全国に先がけて神戸に誕生をみようとしている。消費者問題も、今ままで以上に躍進することだろう。

また、今年こそ、神戸の街ぐるみで、一つのコミュニティで消費者問題と取り組むといった大きな催しができたらと思う。新しい豊かさを求めて、一つの機関だけが、一つの消費者団体が、また行政だけが取り組むのではなく、企業、消費者を問わず、みんなで話し合い、地域で語り合い、よりよい生活づくりを、神戸から全国へ広げてもゆきたい。

神戸は「科学的」センスを持ち合せた街であり、それでいて「プラクティカル」(実用的)であり、「躍動」する街、「豊かさ」と「美しさ」を持つ街、ビュティフル神戸、そして豊かな発想のできる街こんな欲ばりなことを考えながら坂道を歩いていると、その前を美しい一人の女性が、スカートを風にゆらがせながら、トアロードからセンター街へと姿を消していった。異人館が青空に映えている。

□ある集いその足あと

神戸

乗馬倶楽部

瀬戸裕吉郎

△神戸乗馬倶楽部理事・精進堂社長△

創立以来六十余年我が国最古の伝統を有する社団法人神戸乗馬倶楽部は馬術の振興と馬事思想の普及並びに、動物愛護の情操高揚を目的として設立され、戦前は高位高官の名士は必ず来俱され格調の高い社交場としてその著名度は日本全国に響いたものです。

戦後は広くその門戸を開放し会員も老若男女とその層は厚く、東京オリンピックには神戸乗馬倶楽部より二名の選手を出すなど全国の馬術大会には必ずといってよいほど名選手が出場した。

現在の会長佐用仙治氏は馬歴五十有年、しかも現役で毎日毅然として騎乗され、この度兵庫県スポーツ賞を受賞された我が国馬術界の重鎮です。私も馬歴は三十有年ですが、神戸乗馬倶楽部に入会して早や二十年の歳月を経過し古参の部類に属し、その経営にも参画

しています。会長以下役員十六名で理事会が編成され、倶楽部を統轄運営に当っておりです。私は毎朝開店前のひと時を馬に乗りストレス解消と心身の鍛練に励んでいます。

冬の寒い朝、馬場内で運動していると、白猫が柵内に飛び込んで



日曜日の朝は、練習に若い人も多勢集まります。

来た。馬は驚いて横つ飛びに避ける。ボサツと騎乗していると落馬の憂き目にあう。一瞬脚をしめ手綱をしぼり馬の狂奔を防ぐ。これなどは突発の事象を機敏に対処する訓練になる。馬上豊かに馬が自分の思う通りに動作する時は最高で気分爽快。こんな可愛い動物に接することの楽しさは馬を知る者以外にはわからないスポーツで他に例のないものと自負している。毎年恒例になっているが、今年も秋深い神鍋山へ馬を馬運車で運

び二泊三日の遠乗会を催し、稲穂のなびく田舎道、紅葉の美しい山肌、柿の実のついた木々に囲まれた農家の横を、馬足も軽やかに神鍋山周辺や山頂へと馬群を連れね疾駆する様は一幅の絵となり騎乗の醍醐味を満喫したものでした。

あなたの趣味はと問われると、乗馬ですと答える。あの競馬でずかと返ってくるのが殆んどですが、乗馬と競馬とは全然違います。私は元町に生れ育った生粋の神戸っ子ですが、都心に近い青谷で毎日馬に乗ることの出来る幸せは最高のものと思っています。

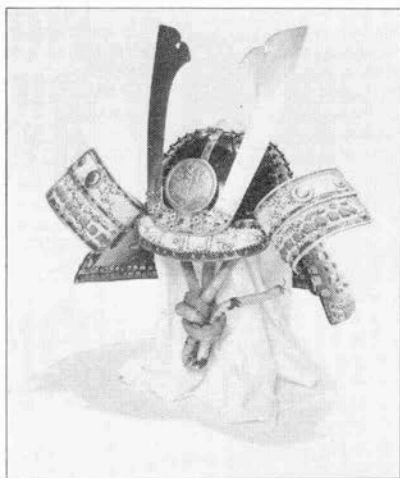
馬術の神髄は技術の面のみでなく、日常の言行態度全て品格を保持し、事に処して積極果敢人を敬いその範たるべきこと、心清く礼儀にあつく節度正しくして格調高き者、これ真の馬術修練者なり。

立派な諸先輩の薫育と指導を得て現在に至っている伝統と光輝ある神戸乗馬倶楽部。この会員であれば人間として全て間違いないとその信用は絶大なるものがあり、親も安心して子供を入会させている神戸乗馬倶楽部。

昭和五十三年は午歳です。馬に乗って馳けて見よう。美容と健康に心身の鍛練に最適のスポーツです。

入会希望者は電話八六一一〇九四 神戸乗馬倶楽部にお問合せ下さい。火曜日定休

刀剣 古美術



飾り甲 / 12万円

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作
一カ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地
TEL078-351-0081

神戸に生まれて80年
新しい笑顔で
ごあいさつ。

元町のホームから
エキゾチックな顔が
見えました。
レンガづくりの新しい顔が
ひときわ高くほほえんでいます。
元町通りの風月堂が、すっかり新しく
なって、あなたにごあいさつしています。



5階	茶室・清月庵 特別室・ゴルフルーム
3,4階	事務所
2階	レストラン風月堂 緑の庭園「ランスロット・プラザ」
1階	和洋菓子・茶寮
地階	風月堂ホール「グラン・パレ・ド・フォーゲツ」

贈る心にお菓子をそえて

 神戸風月堂

本社 神戸元町3丁目 ☎078(321)5555